

狭山が発祥の地

# 童句

池原 昭治の

## さやまのふるさと

91



千し布団 お日さまいるねと

類あてる  
木村鈴子

初冬の 木もれ日を背に

ケンケンパー  
寒河江美江子

年の瀬や 通学道路

工事中  
高田貞子

落葉掃く 母の背中へ

また落葉  
富沢証江

千し大根

三日月のごと やせ細り  
堀込幸子

ぼくの名も

表札にあり 雪のせて  
創始者 土家由岐雄

## AET CORNER



Melanie Boryskavich (堀兼中学校勤務)

It's Christmas time again! It never ceases to amaze me how differently we celebrate the holiday. In Japan, Christmas seems like "Valentine's Day". It is a day spent with your boyfriend, girlfriend, or friends eating Christmas cake, exchanging presents, etc. In Canada, Christmas is a FAMILY day. Some of us, go to church, eat a huge dinner with our family, exchange presents (on December 25th - Christmas morning), go caroling, take sleigh rides, etc. For us, New Year's Eve is the day which we spend with our friends having a party and ringing in the holidays with champagne and a kiss. This year I will finally go home for the holidays. I am truly looking forward to a white Christmas.

またクリスマスがやってきます。私は、いつもクリスマスの過ごし方の違いに驚かすにはいられません。日本ではバレンタインデーのようです。恋人と過ごしたり友達とケーキを食べたり、プレゼントを交換します。カナダでは「家族の日」です。教会に行ったり、ごちそうをたくさん食べたり、プレゼントを交換します(12月25日の朝に)また聖歌を歌ったり、そり遊びなどをします。一方、私たちにあって大晦日は友達とパーティーをしてシャンパンを飲んだり、抱き合って喜びを表し、新年をお祝いする日です。今年は、久しぶりにカナダに帰ります。今から雪のクリスマスをとても楽しみにしています。<メラニー・ボルスカピッチ>(英文の要約)

### 第六天さまの狐

むかしのおはなしです。

堀兼の青柳に住むある男が、川越の新河岸へと、大八車に荷物をいっぱい積んで出かけました。第六天の林の中を通ったそうです。

その時は、とても急いでいましたので、サツサとかけぬけたそうです。林の中は杉の木が立ち並び、昼でもなお暗いところでした。やがて仕事も終わり、帰るときは日も暮れ、月がでていました。第六天の林の中から家の明かりがチラチラ見えたので、「やれやれ！」

ひとふるあびて、いっぱいやるべえ！」と、少し足を速めました。

ところが、歩いてても歩いてても、明かりが遠くなるばかりで、家にはたどりつきません。気が付いてみると、なんと、新河岸にもどっているではありませんか。男は立ち止まり、一服つけて考えました。「そうだ！おら、今朝方あわてていたんで、第六天さまに挨拶しなかつたべえ！これは、第六天さまの狐のしわざにちがいないかんべえ！」と気が付き、おおいに後悔しました。それから、林の中を通る時は、「第六天さま」と言うて通るようになったそうです。

※100 この広報紙はリサイクル推進のため古紙配合率100%の再生紙を使用しています

お・茶・番・る・ま・ち



[狭山市広報] VOL.569

◆発行日/平成14年12月10日(毎月10・25日発行)

◆発行/狭山市

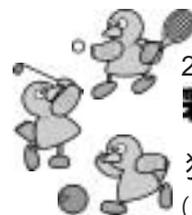
◆編集/狭山市総合政策部広報課

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5

☎042-953-1111(内線7162)

☎042-954-6262 テレホンガイドさやま ☎0120-460-380

ホームページ <http://www.city.sayama.saitama.jp/>



2004年

影の国まごころ国体

狭山市開催競技

(ソフトテニス・ゴルフ・ボウリング)